

企画展「あつまれ！だんごむし」のアンケート調査結果

池田 大¹⁾・野川 裕司¹⁾

Results of questionnaire survey regarding short-term exhibition“ Atsumare! Dango-mushi”

Hiroshi IKEDA and Hiroshi NOKAWA

キーワード：ダンゴムシ, 企画展, アンケート, 等脚類

Key words : pill bug, short-term exhibition, questionnaire, Isopod

1. はじめに

橿原市昆虫館では、企画展・特別展を年間4回程度開催しており、令和4年1月12日～3月27日には、筆者の一人である野川が主担当となって企画展「あつまれ！だんごむし」を開催した。これまでも当館では、より良い運営を行っていくため、常設的にアンケート用紙を設置し調査を実施してきたが、本企画展ではそれと別で、来場した人々が“ダンゴムシ”という生き物をどのように捉えているか、また展示のどのようなところに関心があるのかなどを把握するためのアンケート調査を実施した。ここにその結果を報告する。

2. 企画展の概要

(1) 展示目的

当館では、これまでカブトムシやクワガタムシ、ナナフシやゴキブリなど様々な虫に触れ合える昆虫のふれあい体験を実施してきており、来館者にとって人気のイベントである。しかし昆虫館でのふれあい体験とはいえ、参加してくれる子ども達や大人の中には一定数、虫に触ることが出来ない方もみられる。そんな中、ほぼすべての方に受け入れられる「むし」が「ダンゴムシ」である。カブトムシやナナフシなどを触るのは怖くて無理という子どもでも「ダンゴムシは触れる！」と言い触ってくれる様子が度々見られる。またゴキブリとのふれあいを拒否する大人でも「ダンゴムシなら・・・」と触ってくれる。多くの人々にとって恐怖心や嫌悪感が少なく、人気者である「ダンゴムシ」だが、よく注目してみると身近にい

ながら知らなかった生態や面白い習性など興味深い内容が盛りだくさんの生き物である。本企画展は「実は日本に生息するダンゴムシは1種類じゃない!？」[海外に生息するカラフルなダンゴムシ?]など、来館者に「ダンゴムシ」という身近な生き物に注目してもらうことで、小さな生き物や自然に親しみを持つ機会を作ることを目的として開催した。

(2) 展示内容 (図1)

会期は令和4年1月12日～3月27日(休館日を除く実質開催日数:65日)で、開催期間中の入館者数は9,987人であった。会場は当館2階の標本展示室3(特別展示室)である。

展示内容は以下の通りである。

・巨大ダンゴムシ模型の設置 (図1A)

・生体展示 (図1B, 図1D, 図1F, 図1H)

日本や海外に生息するダンゴムシ、ダンゴムシの改良品種、近縁種であるフナムシ、見た目が似ているヒメマルゴキブリやタマヤスデなど計15種

・ダンゴムシに関する解説パネル

体のつくり、雄雌の見分け方 (図1C)、だんごむしの一生など

・飼育方法

解説や飼育セットの実物を展示

¹⁾ 橿原市昆虫館 〒634-0024 奈良県橿原市南山町624番地
insect@city.kashihara.nara.jp

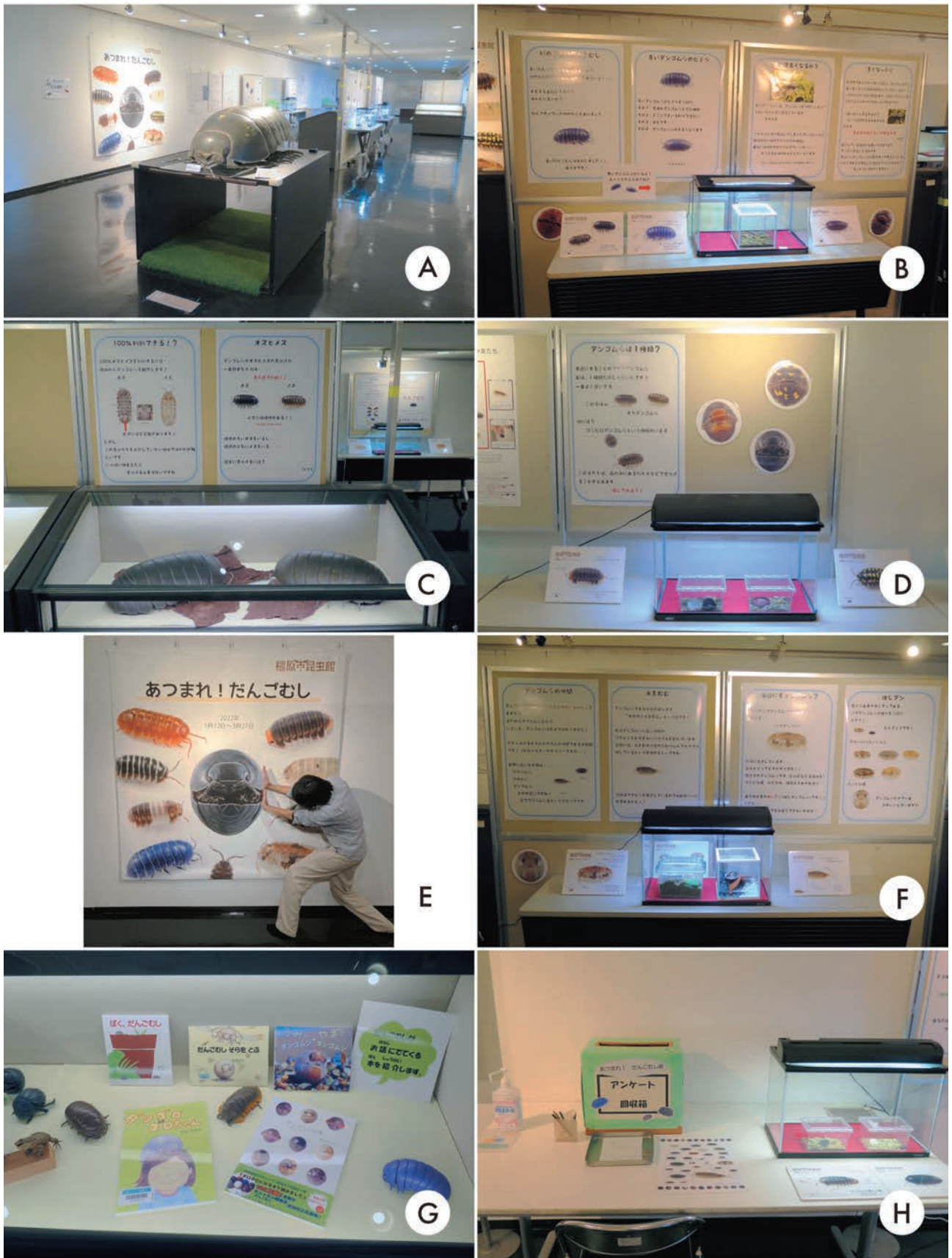


図1 展示風景 (A:オカダングムシの巨大模型, B:青いダングムシの展示, C:ダングムシのオスとメス, D:外国産ダングムシの生体展示, E:撮影スポット, F:海岸に生息するハマダングムシとフナムシの生体展示, G:ダングムシに関する書籍やグッズ, H:アンケート筆記コーナー)

・ダンゴムシの交替性転向反応

解説と実験用の迷路を展示。また実際にダンゴムシやワラジムシを迷路に放し習性どおりに進むのか実験できる体験コーナーの設置。

・幻の青いダンゴムシ（イリドウィルスに感染したオカダンゴムシ）（図 1B）

野川（2022）で採集された個体の生体展示や青くなる理由の解説、県内の小学生による青いダンゴムシに関する研究成果の展示

・写真撮影スポット（図 1E）

インスタグラムや twitter などの SNS 投稿向け

・ダンゴムシの出てくる絵本や書籍の紹介（図 1G）

・アンケート（図 1H）

※ 詳細は次項 3. アンケートを参照。

3. アンケート

(1) 調査方法

アンケート調査は、アンケート用紙（図 2）を企画展会場の一角に置き（図 1H）、観覧者が自由に記入後、回収箱に入れる方法で集めた。回答項目は、①「展示の満足度」、②「好きなだんごむし・推しだんごむし」、③「だんごむしエピソード」である。

(2) 結果及び考察

会期中に計 458 件の回答があった。ただし、無回答や複数回答の場合があるため、各項目の回答数の合計が回答総数と必ずしも一致していない。

(2) - ① 展示の満足度（選択記述）

実際に本企画展を観覧しアンケートに回答いただいた 458 件について、展示の満足度は「とても満足」と「満足」が合わせて 87.6%と高い数字になっていた（図 3）。このことから、多くの来場者にとって本企画展の満足度は高いものであったと考えられる。

(2) - ② 好きなだんごむし・推しだんごむし（自由記述）

観覧者が展示の中で、どの種に注目しているか把握するため行った。また回答を補助するため、本企画展で

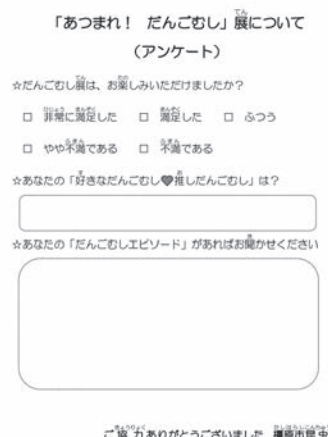


図 2 アンケート用紙

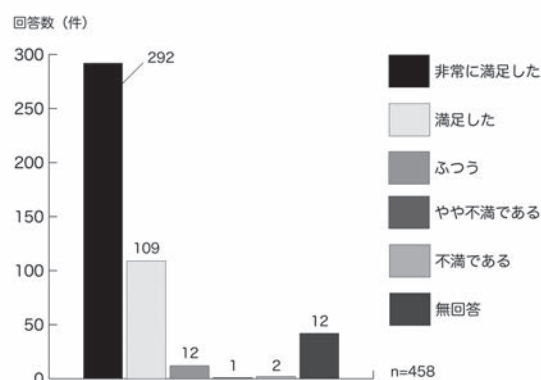


図 3 展示に関する満足度

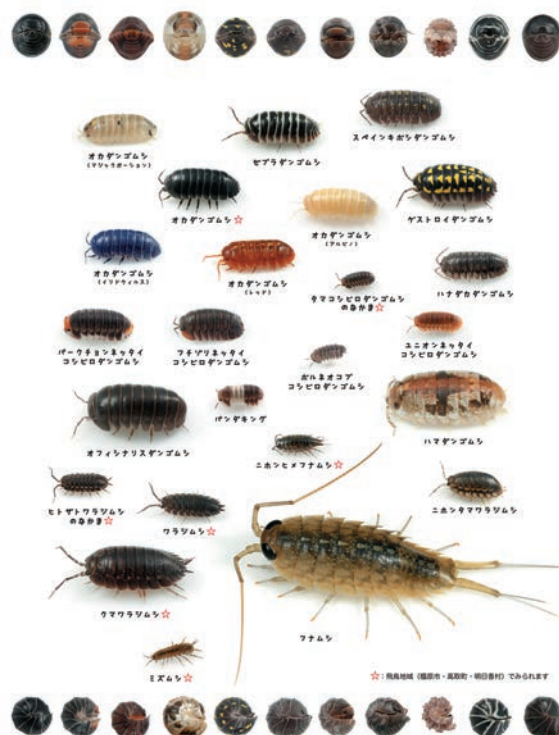


図 4 ダンゴムシ類のポスター：飛鳥地域に生息する種には種名の後ろに☆をつけている

順位	好きなだんごむし・推しだんごむし	科名	投票数	
1	オカダンゴムシ ◎	オカダンゴムシ科	123	
2	オカダンゴムシ (イリドウィルス) ◎	オカダンゴムシ科	66	
3	パンダキング ◎	コシビロダンゴムシ科	35	
4	ゲストロイダンゴムシ ◎	オカダンゴムシ科	33	
4	フナムシ ◎	フナムシ科	33	
6	オカダンゴムシ (アルビノ) ◎	オカダンゴムシ科	27	
7	オカダンゴムシ (レッド) ◎	オカダンゴムシ科	22	
8	ゼブラダンゴムシ ◎	オカダンゴムシ科	19	
9	モンテネグロダンゴムシ ◎	オカダンゴムシ科	17	
10	ハマダンゴムシ ◎	ハマダンゴムシ科	11	
11	オカダンゴムシ (マジックポーション) ◎	オカダンゴムシ科	10	
11	オフィシナリスダンゴムシ	コシビロダンゴムシ科	10	
13	ボルネオコブコシビロダンゴムシ	コシビロダンゴムシ科	6	
14	スペインキボシダンゴムシ	オカダンゴムシ科	5	
15	パークチョンネッタコシビロダンゴムシ ◎	コシビロダンゴムシ科	3	
15	ワラジムシ	ワラジムシ科	3	
17	タマコシビロダンゴムシのなかま	コシビロダンゴムシ科	2	
17	フチゾリネッタコシビロダンゴムシ ◎	コシビロダンゴムシ科	2	
17	ニホンタマワラジムシ	ヒゲナガワラジムシ科	2	
20	ハナダカダンゴムシ ◎	オカダンゴムシ科	1	
20	ユニオンネッタコシビロダンゴムシ	コシビロダンゴムシ科	1	
20	クマワラジムシ ◎	ワラジムシ科	1	
	ニホンヒメフナムシ	フナムシ科	0	
	ヒトザトワラジムシ	ハヤシワラジムシ科	0	
	ミズムシ	ミズムシ亜目ミズムシ科	0	
	その他 (全部 6・赤ちゃん 1)		7	
	いない		2	
	無回答		6	

図5 好きなだんごむし・推しだんごむしの投票結果: 生体展示した種には種名の後ろに◎をつけている

展示しているダンゴムシ類及び橿原市昆虫館周辺に生息するダンゴムシ類をまとめたポスターを作成し(図4)、アンケート用紙を配置している付近に掲示した(図1H)。

計447件の回答が得られ、23種類のダンゴムシ類が選ばれた(図5)。最も投票数の多かったのはオカダンゴムシで2位以下の種類と比較して投票数に大きな差が出た。また上位に選ばれたダンゴムシ類は、本展示で生体展示されておらず、色彩がカラフルな種類が選ばれやすい傾向であった。分類群別で見ると、品種を含めたオカダンゴムシ類5種の全体の投票数は248件で、全体の半数を超える結果であった。一方、コシビロダンゴムシ科やワラジムシ類はいずれの種も10位以内に入らず、オカダンゴムシ科の人気の高さがうかがえた。その中、フナムシは4位(投票数33件)であり健闘した。

(2) -③ だんごむしエピソード(自由記述)

ダンゴムシは身近な生き物であることから、多くの方々にとって何かしらの思い出があるのではないかと考え募集を行ったところ、計256件のエピソード及び本企画展の感想が得られた。なお、子どもの回答者が多いため、エピソードの項目の箇所に素敵な絵のみが描かれたものが18件あったが、無回答とともに本分析からは除外している。

エピソードの中には、共通する単語や内容の記述が多数見受けられたため、いくつかの項目別に分けて分析した。なお、エピソード内容によっては複数の項目に重複するものもあるが、該当する項目の全てでの記述はせず、代表項目でのみ記している。子どもが参加したアンケートも多いため誤字が見受けられるが、なるべくアンケートの生のデータに近いものとするため、修正は行わず文字起こししている。

【子ども】74件 子供の頃/5才/小学校など

項目別の中では最も多い件数であった。多くの人々にとってダンゴムシとの思い出は、子ども時代に形成されているようである。

※ 保育園のプランターの下にオカダンゴムシがいると、子どもたちが3、4人集まってきて砂場のおもちゃのバケツに大切そうに入れてました。人気者です。

※ だんごむしの絵本を見てから大好きです♡脱皮、コ

ンクリートを食べる etc 絵本で覚えて散歩のときちゅうでしがしています。3才けん♡

- ※ 幼いころ、帰り道が手いっぱいダンゴムシをつかまえて、家の庭にはなし、「いっぱいふえろー!!」とねんじていました。
- ※ ようちえんとき、ひまさえあれば、ダンゴムシさがしをしていました!
- ※ 子どもの頃よく捕まえました!!
- ※ 学校にだんごむしをもっていった。
- ※ ダンゴムシの体が好き 3才児
- ※ 幼稚園の時は見つけたらとりあえずつかまえていて、プリンカップに入れていた
- ※ ようち園でだんご虫をさがしてけっきょくさがせなかった
- ※ おともだちとほいくえんでダンゴムシをさわった。
- ※ 4さいの男子ダンゴムシ大好きで見つけるのもつかまえるのもてつもなく上手です!虫かごはいつもダンゴムシだらけ
- ※ ほいくえんときに、くさむらにたくさんいてびつくりしました。20ぴきほどいました。
- ※ 学校でよくだんごむしをつかまえていた。
- ※ 小さいころによくつかまえていました。
- ※ ようちえんでいっぱいつかまえましたでもようちえんをそつえんしましたつぎは1ねんせいです

(家族)

自分だけの思い出だけではなく、身の回りの家族や親せきが登場する回答も多く見受けられた。

- ※ 孫が毎朝、登園する際に、家のそばにいるダンゴムシに「おはよう」とあいさつをします(笑)
- ※ 弟の幼稚園時代 おともだちは?と聞くと「ダンゴムシ!」と言っていました。今では36才。まだおぼえているのかな?
- ※ 夏には毎朝公園にいったお兄ちゃんと虫とりをしていてダンゴムシをたくさんみつけてつかまえていました。
- ※ いとこがたまごをうんでいるだんごむしをみつけてうれしかった。
- ※ 息子が大好きでよくつかまえますが、長生きさせるのは難しそうです。育て方展とか、してもらえるとすごく喜びそうです。
- ※ おじいちゃんちに夏、行ったときに、ダンゴムシをいつもつかまえています。

- ※ ばあちゃんとだんごむしをとった。
- ※ お兄ちゃんと公園でとりあいになった

(成長の変化)

子どもの頃のエピソードの中には、大きくなって触れるようになった、大人になって苦手になったなど、人間の成長の変化を感じ取れるエピソードもあった。

- ※ 2才で触れなかったダンゴムシが3才になって普通に恐くなくなって触れるようになって、家の庭で遊んだよ。
- ※ 小さい頃、庭にいるダンゴムシを集めるだけ集めました。今では絶対に無理です・・・
- ※ おうちの植木ばちの下に居るダンゴムシはどれか気になりました。どれかなあ?
- ※ 子供の頃、集めて、箱に入れてコロコロさせて遊んでました。今は気持ち悪くて さすがにできない・・・ 50歳男
- ※ 昔、浜辺でフナムシをつかまえて つりのエサにしていたのですが、1匹だけ子どもをかかえてたと思いますが 手のひらいっぱい小さい点が無数に広がりました。大人になっても虫はとても好きですが、フナムシはつかまえないようになりました (笑)

【身近】48件 公園/庭/学校など

ダンゴムシとの思い出の場所として、身近な場所が多く出現した。いかにダンゴムシが人々の生活に近い場所に生息している生き物であるかを裏付ける結果であると考えられる。

- ※ いえのかだんにたくさんいました。
- ※ 家のにわにダンゴムシがたくさんいます。
- ※ うえきばちをどかしたらうじゃうじゃといたこと
- ※ みつけるのがたのしかった くだんのしたにいっぱいいた。
- ※ 学校でダンゴムシを見つけた。
- ※ おうちのいえにさくさんいます。
- ※ 公園でだんごむしを探しました。
- ※ よくにわにいます。
- ※ いつもだんご虫がうちのすきまにいる。
- ※ おうちにもいる。
- ※ 畑におったなあ・・・

【遊んだ】40件 遊んだ/競争させた/たわむれたなど
ダンゴムシと遊んだ思い出も多く見受けられたが、こ

れはダンゴムシが身近で手に取りやすく、かつ危険な生き物でないことによる影響が大きいのではないかと考えられる。

- ※ 小さい時によくだんごムシと遊んでました。
- ※ 小学校のかえりみち、だれがまるめながら長くあるけるかきょうそうしてました
- ※ ようち園のとき、ダンゴムシのお家を作ったり、ダンゴムシレストラン (ダンゴムシがお客さん) を聞いたりしてあそんでいました!!!ダンゴムシさんも気に入ってくれたかなー?
- ※ 小さいときに、ティッシュ箱の空き箱でダンゴムシハウスを作っていました!
- ※ こうえんであそんでいます
- ※ にわでまいとしあそぶ
- ※ おにはのだんごむしとあそびました。
- ※ ダンゴムシを手において遊んでいると妹ととりあいになった
- ※ ダンゴムシたいダンゴムシのきょうそうをした。
- ※ 丸めてポケットによく入れていた
- ※ だんごむしは大人になった今でも触れる数少ない虫です(笑) だんごむし迷路で一緒に遊ぼうと思いません
- ※ ダンゴムシわいしのしたでとって、あそんでいました。
- ※ よく丸めて遊んでました!!!
- ※ まるめてあそんでいた!!
- ※ いわのすきまからみつけました。ころころあそびました。
- ※ おわんに小さい葉っぱをたっぷり入れて、丸まったダンゴムシをのせて豆ごはんにしていました。(おままごと)
- ※ 小学生の頃ふで箱にだんごむしをつかまえて入れて、授業中ずっとあそんでいました。
- ※ 校庭のすみこの木のしげみで、ダンゴムシとたわむれる子どもでした。
- ※ ようちえんでダンゴムシであそんでいました。
- ※ ようちえんのときだんごむしであそんでいました。
- ※ 小さい頃、まるめてあそんでいました
- ※ ようちえんで たくさんの ダンゴムシと あそびました。1年生になります。
- ※ だんごむしのおうちをつくってあげた
- ※ よく、道端に落ちている?歩いているダンゴムシを拾っては、手に乗せて遊んでいました。

- ※ そのだんごむしで だれがはやくゴールにたどりつけるかレースをしました。
- ※ 友人とダンゴムシですもうをした（あらぬ方向に進んで行き結ちやくつかず）

(集めた)

- ダンゴムシと遊んだエピソードの中には、たくさん集めたことについて言及しているものも多かった。
- ※ 子供の頃、料理に興味があり砂場セットのザルに大量のだんご虫を入れてチャーハンにみたてで遊んでいた。ゴメンね!!!
 - ※ 1年生のころたいりょうのだんごむしを入れてあそんでいました。
 - ※ いっぱいあつめてコレクションにしたことが……。なんかいつも身近にいるものって感じがしています。
 - ※ 近所の公園で100匹以上つかまりました!
 - ※ 公園のすみっこにダンゴムシがかたまっていたのをバケツいっぱいぶとりました
 - ※ お家の庭にたくさんいます。おけに30匹ほど入れてあそんでいます。
 - ※ 虫かごいっぱいにくろいだんごむしをいれてあつめていた。けどにがした。
 - ※ たくさんあつめた
 - ※ 小学校1年生のとき学どうでダンゴムシを集めました。さいごにダンゴムシを数えたらなんと二百四十六匹になっていました

【観察】19件 脱皮を見つけた / 自由研究 / 飼っていたなど

- エピソードの中には、ただ捕まえるだけではなく、じっくりと観察していると思われる記述も多く見受けられた。
- ※ だんごむしをうらがえしたら たまごがたくさんありました。
 - ※ はんしょくさしていた。
 - ※ だんごむしのおかあさんのあかちゃんがうまれました!?
 - ※ いっぱいダンゴムシをつかまえたら、いつのまにかダンゴムシの赤ちゃんがうまれていた。
 - ※ ダンゴムシの赤ちゃんがいっぱいうまれてその赤ちゃんが白くてかわいいなと思いました。
 - ※ 家の庭によくいます。子供が喜んで見つけては観察

しています。

- ※ 三女が夏休みの自由研究でだんごむしを扱っていたのを思い出します。
- ※ クロップイダンゴムシとかはやくあるくだんご虫がよく見る
- ※ 岩や植木鉢を雨の日、雨上がりに上にあげるとダンゴムシが!
- ※ いわのおちばがたくさんあるところにいた。
- ※ ダンゴムシのだつびを見つけた。
- ※ みんなでだんごむしおかんさつした
- ※ バケツにへやを作ってあげたりメスをかんさつしたりした。とてもすごかった。

(飼育)

- 観察の中には、飼育にまつわる記述も多く見られた。
- ※ 丸まってもトカゲには食べられると本で見て、いっしょに飼育してたしかめようとしたところ何故か食べられず不思議に思いました。10年以上前……。
 - ※ 大人になってダンゴムシを飼いはじめたら、顔面偏差値の高さにびびった。
 - ※ ねえねといっしょに3さいぐらいの時にだんごむしを23びきかっていた。
 - ※ ようち園の時にバケツいっぱいにダンゴムシを集めるほど大スキでした。今も、子どもたちと育てたりしています
 - ※ ほいくえんで見つけたダンゴムシをポケットに入れて家がかつた事
 - ※ だんご虫をかっていたら気づくと箱いっぱいにいた。
 - ※ 一年生のときにダンゴムシを学校でかつたこと
 - ※ 5さいぐらいの時妹と、だんごむしをかつたいて、23びきもかかっていました。
 - ※ おにわでだんごむしとあそんだり、せはおしました。
 - ※ だんごむしをいっぱいつかまえてそだてました
 - ※ 虫カゴで飼ってました。
 - ※ 小学生の頃 筆箱の裏側で 飼おうとしてました

(発見)

- 観察することで発見したこともいくつか書かれており、当事者にとって印象的な出来事であったのだと推察される。
- ※ 中学校の時自由研究でダンゴムシの研究をしました。「ダンゴ虫は色が分かるのか?」「光が分かる

- のか?」などやったのですが、たしか茶色に集まったような・・・しかし何回もやっているのでデータとしては弱いですね。まちがってワラジムシをまぜてしまったりと失敗もたくさんありました。
- ※ ダンゴムシをでこびんで弾いて、ぶつけあうダンゴムシバトルをしていました。ダンゴムシからしたら、いい迷惑だったと思います。
 - ※ 子どもが園児のとき、迷路でダンゴムシをころがして遊んでいました。ころがすのをやめたらダンゴムシが交互に曲がって、驚きました。ワラジムシもまるめようと頑張っていたことを思い出しました。
 - ※ 坂からダンゴムシがころころころがる。
 - ※ 時々、裏に卵がついているダンゴムシを見つけて嬉しくなった。メスカナ?
 - ※ さわると丸くなって楽しかった。
 - ※ ふつうのだんごむしが入っているケースにおちばをいれてもぜんぜんはんのうしませんでした。(2まい目)
 - ※ だんごむしとあそんでいたらよくまるくなっていました。手のひらにのせていたらあるいていてすこし手のひらがこしょばかったです。
 - ※ 丸まうないと思ったらワラジだった
 - ※ 手でつかまえたら、まるくなつたし、こちょばかったです。
- 【アクシデント】39件 殺してしまった/怒られた/食べたなど
- エピソードの内容から、アクシデントは主に子ども時代に起こっているようである。
- ※ 娘が庭で座りこんで一生けんめい何かしていました。しばらくすると「ママ見て～」と娘。ふりかえると、両手いっぱいのダンゴムシが元気に動きまわっていました。
 - ※ 息子が庭でダンゴムシをあつめて、妻がさげんできました。
 - ※ 子供が50匹きくらいのだんごむしを家の中にはなしていた。
 - ※ おいっ子が「だんごむしを100匹つかまえるまでかえらない」といって、透明のビニール袋に本当に100匹つかまえてきました。母親にめちゃくちゃおこられていました。
 - ※ 私が小さいころ、ポケットや紙コップいっぱいにダンゴムシをつめて、お母さんがひめいを上げていました。今でも、「ダンゴムシ!!大好き!!♡」
 - ※ 2才の弟がダンゴムシをつぶしてしまった!!
 - ※ 娘が「お母さん、プレゼント」と言ってポケットから沢山のダンゴ虫を出して空中にばらまいた事
 - ※ 3才のときに、たくさんダンゴムシを持って帰って怒られた。
 - ※ 子供の頃 海釣りに行った時 虫カゴにたくさんつかまえて車の中でながめていたら、カゴのフタが空いて車の中に全部逃げてしまった。
 - ※ 小学生のころふでばこのケシゴムを入れるところにダンゴムシを入れもってかえり母におこられました。(めっちゃおどろかれた)
 - ※ 小さい頃に丸めて鼻の穴に入れて遊んだことがあります(30歳男性)
 - ※ お祖母ちゃんの家で庭でダンゴムシをさがしていたらたくさんいて「飼いたい!!」とお母さんに言ったら「やめて」といわれました!(笑)
 - ※ おにわのそとでだんごむしを見つけました そのだんごむしをぼすとにいれました。
 - ※ ダンゴムシをいっぱいあつめて つくえに入れていたら おこられました。
 - ※ 空きカンの中にぎっしり集めたダンゴムシを妹にあげたらカンをたおした時、ひめいあげました。
 - ※ 家の弟がだんご虫をつかまえて、おしっこをされ、ビビっていた。(ギャー!!みたいに)
 - ※ ビービー弾の玉を探していて、ダンゴムシをつかんでしまい、ひっくりかえった。
 - ※ 庭のプランターを雨あがりにどかすとタンゴ虫のたいぐんがいてびっくりしてひっくりかえったのをおぼえています。
 - ※ だんごむしにおしっこされた。
 - ※ 見つけたらぼうしにいれてよくきたなくなりました。
 - ※ だんごむしにうんこされたことがある
 - ※ 一回だけ学校の生活でダンゴムシをかいました。それでいっかい虫かごがあいたから一回ダンゴムシがぜーいんでてしまいました。
 - ※ 小学生のころメスのダンゴムシを手に入れて登校したら、手の中で羽化してしまったこと。
 - ※ 子どものころ、バケツ一杯にダンゴムシを集め、集めたまでは良かったが、その後どうしよう・・・と途方にくれた。

- ※ 小さい頃だんごむしが好きでバケツに入るだけ集めようと友人4～5人で集めていると、量が多くなる程怖くなってきた思い出が・・・。
- ※ ポケットにだんごむし いっぱいつめてた。

(命)

アクシデントの中には命に係わる記述も多く見受けられることから、ダンゴムシは子どもたちが命について学ぶ機会を与えている貴重な存在ではないかと考えられる。

- ※ 子供のころ、だんごむしを泥で包んでマンホールの上にならべて太陽光で熱して、「だんごむしのからあげ」をつくってあそんだりしてました。ごめんなさい💧・・・。虫は子供の遊び相手になってくれます。
- ※ ようちえん(ほいくしょ)の時おひるねの時間があってダンゴムシをまくらのしたにダンゴムシをおいてねたらつぶれて死んじゃった・・・小学4年生です。
- ※ 玄関外の盛り塩に集まってきたのが全員カラカラになっていた。
- ※ だんごむしをかえるのエサにしようとして大変なことになる。
- ※ だんごむしをはい水口に入れていた。
- ※ だんごむしを無理矢理丸めてしまいました。だんごむしさんごめんなさい。
- ※ 潰した。
- ※ 7～8さんの時、だんごむしを3びきくらいかっけました。2日～3日くらいでぜんいん死にました。
- ※ ヒメタイコウチのえさにしようとしたら、逆に、ヒメタイコウチが食われました。
- ※ 子供の頃はコップ一杯に集める位、好きでした。が、日本庭園(我が家にある庭)のコケを食べるので今は見つけると「につっき!コイツめ!」ブチッ「ギャー」←ダンゴムシの悲鳴?・・・です。
- ※ だんごむし大好き少女でしたが、ある日手の中で赤ちゃんが産まれてしまい、以後さわれなくなってしまいました・・・(笑)今でも見るのは大好きです。
- ※ ようちえんのときだんご虫をつかまえたけどしにました。
- ※ 自分の弟がダンゴムシをいっぱいさがしていた
- ※ おうちにもってかえるとすぐしんでしまいました
- ※ ダンゴムシを友達にあげようと、手に隠して、友達

に見せた所、すごく嫌がられ、引き裂いてしまいました。ごめんなさい・・・(母親より聞きました) 24才女性

- ※ 飼ってみたけど、水やりを忘れてカリカリになってました。
- ※ ようちえんでかのんちゃんといっしょにだんごむしをさがしておせわしてあそんであそぶものをつくったよでももうしんじやったよ。かな
- ※ 子どもの時はじめて飼った生き物がダンゴムシでした。その当時(40年前)ダンゴムシの脱皮の仕方を観察して知っていました。いい大人になった今でも時々飼っては手のひらで出産させてよろこんでいます。ダンゴムシ大好き♡
- ※ だんごむしをかつたけどしにました。
- ※ 家で1日かおうとしたら次の朝、見に行くと雨にやられて、4んでいた。悲しかった思いで
- ※ お道具箱の中で飼ってました。数日後白くなって動かなくなりました。

(食べた)

- ※ 赤ちゃんの時ダンゴムシを食べてしまいました。(本当です。)
- ※ お姉ちゃんがだんごむしを食べたと今(15)になってからいいました。家族みんなでびっくり!!
- ※ ダンゴという名前で「おいしいの?」と、3才の時に食べてしまったことがあります。ちなみに、土くさくて、とてもまずかったです。32才男(父)
- ※ だんごむしを食べたらハチミツの味がした。
- ※ 案外炒めて食べるとおいしいよ。

【展示の感想】45件

本アンケートには、展示の感想を記述できる項目がなかったことから、エピソードの欄に記入される方も多かった。

- ※ 小さいころよくブロックのうらなどにいたけど、こんなに種類があるとは・・・。大人になり勉強になった!楽しいです。
- ※ 5歳男児です。だんごむしが大好きで植木鉢の下とかにいるのを見つけてはよく遊んでいます。こちらで交替性転向反応を実際に見せていただいて親子で大興奮でした。
- ※ 息子もわたしもダンゴムシが大好きです。歩くの遅くてコロコロしててかわいいです。いつも息子と

ダンゴムシを探してあそびます。たまたま今日来たらダンゴムシ展やって嬉しい！たのしかったです。

- ※ かわいいから♡
- ※ だんご虫はまるまっところがるのでおもしろいです。
- ※ カッコイイから
- ※ かわいいから。
- ※ まいちゃんとだんごむしめいろしたこと
- ※ 海辺で足にのったりするフナムシを見るととってもなつかしい気持ちに。おしりから水を飲むことを初めて知りました。ありがとうございます。
- ※ かつこいいから シマシマがはっきりみえるから
- ※ だんゴムシ、かわいい♡
- ※ だんごむしは「おしりから水をのむ」ということを、していたけどそれは本当のことだった。
- ※ イタリアのだんごむしかわいかったです。だんごむしはふつうに家の庭にいるあたりまえの虫だけど、子供が学校で「青いだんご虫」を見つけたと聞いて、今回来させて頂きました。楽しかったです！！某W家より！！
- ※ 身近にいたので子供たちも喜んでました。
- ※ 楽しかった
- ※ ダンゴムシよかった
- ※ めえろさせて
- ※ うようよいたのがおもしろかったです！
- ※ 「青いダンゴムシ研究」をした深川君は、とてもいいねいに実験を進めていた。死がいと鳥のふんで感染比較もしていてすごい！さらに研究を深めてほしい。
- ※ だんごむしにのりたい。
- ※ ダンゴムシにのりたいです。
- ※ 意外にかわいいと思った♡
- ※ だんごむしのえ本があるよ。
- ※ 深川くんのけんきゅうがおもしろかった
- ※ フナムシもだんごむしの仲間とは知らなかった50代
- ※ きれいなだんごむしがすごかった。
- ※ 深川はるひ君すばらしい
- ※ ☆人はくさんの巨大ダンゴムシさんがありびっくりしました ☆いろいろな不思議があり、大人でも大変勉強になりました。幼児～小学校低学年の子供たちには一番身近なムシさんかも！ ☆深川く

んのダンゴムシ研究とてもよくまとめられていて最後の④⑤はとても昆虫（ダンゴムシ）に対して敬意を持ってまとめられており続きが楽しみです。

☆小学生に紹介したいダンゴムシの本も参考になりました

- ※ 今日ここに来て、おりがみのダンゴムシをもらって名前をつけた！楽しかったです♡
- ※ あおいダンゴムシみたことないのでみたいです。
- ※ ダンゴムシのおなかやせなかがどうなっているのかわかりました。
- ※ たのしかった すき♡
- ※ ありすぎてわかりません
- ※ みてたのたのしかったです
- ※ すごかった
- ※ 青ダンゴムシは2しゅうかんでしんでしまうけど青ダンゴムシはシンプルでかわいかったよ！あつまれダンゴムシてん大すぎ
- ※ 白くてかつこいいからです。なぜかという、赤い目がかつこいいからです。
- ※ 小さくて、きもちわるくもなく、色んないろがあつておもしろいから。
- ※ まださわったことがないけれども迷路が楽しかった
- ※ ダンゴムシといっしょに遊んだこと、大きいダンゴムシに入ること！
- ※ かしはらしこんちゅうかんはけっこうよかった。
- ※ ウイルスに感染しているなんて！！初めて知りました！！
- ※ ダンゴムシがいっぱいいたけどももっとももっとダンゴムシをふやしてください。
- ※ 室外でダンゴムシを飼っているのですが その為、この時期はダンゴムシと会えずさびしい気持ちがいやされました

4. おわりに

本調査では、展示室にアンケート用紙を設置し、来場者に自由に回答してもらう方法をとった。したがって、このアンケート結果は今回の展示に関心がある人々の意見であり、あまり関心のない層や、そもそも昆虫館に来館しない層の意見は含まれない。だが、設問③の「だんごむしエピソード」の結果から、来場者の方々にとって、いかにダンゴムシに関心のある身近な存在であるか再認識させられた。また子どもたちの生き物を育む心を育てる機会、命について学ぶ機会に寄与するものとして、ダ

ンゴムシが重要な存在である可能性を感じることできる内容であった。普及教育や環境教育を実施するうえで、非常に有用なコンテンツであると考えられ、今後の昆虫館での活動に積極的に取り入れたいと思う。設問②の「好きなだんごむし・推しだんごむし」からは、来場者にとって関心のあるダンゴムシの種類を把握することにつながった。今回のアンケート調査の結果は、今後より効果的な展示活動を行っていくうえでの参考となるものであり、役立てていきたいと考えている。最後に、開催期間中に当館へ足を運んでいただいた来場者の方々に感謝申し上げます。さらに、本企画展の実施にあたりダンゴムシの模型や生体の借用及び提供をいただいた兵庫県立人と自然の博物館、大阪府営箕面公園昆虫館、磐田市竜洋昆虫自然観察公園、長崎バイオパーク（以上、順不同）、奈良県内の青いダンゴムシに関する情報提供や採集に協力いただいた関係者の方々に御礼申し上げます。

引用文献

野川裕司, 2022. 奈良県内における青いダンゴムシの発見報告について. 橿原市昆虫館研究報告 (1): 21-22.